



園だより ～きづき～

キ3園 第62号

2025年度2月号

キッドワールドサード保育園

園長 是永 妃富

寒さの真っ最中にいるようですが、もうすぐ立春です。暦の上では春を迎えます。豆まきをして邪気を払い、無病息災を願いましょう。

感染症の流行する季節ですが、換気、手洗いなどに気をつけながら元気に過ごして行きたいと思っています

今月は、発表会ごっこを予定しています。子どもたちの大きくなった姿を見ていただきたいと思います。

いろいろご協力をお願いするかと思いますが何卒よろしくお願いいたします。



お弁当日は 2/8(土)です

お弁当と食具を持たせてください。

おやつと飲み物は園で準備いたします。



- 3日(月) 豆まき
- 10日(月) 身体計測
- 15日(土) 発表会ごっこ
- 20日(木) 健康診断
- 26日(水) 避難訓練

元気に過ごしています！大きくなりました！



- ・2月15日(土)は、「発表会ごっこ」を行います。この日は保護者参観になります。わからないことがあれば、保育士に訪ねてください。
- ・新年度の内定通知は2月中旬ぐらいに市から届く予定です。
- ・寒さの折、発熱や体調を崩すお子さんの姿が見られます。37・5度になりましたら電話連絡を入れさせていただきます。
- ・3/29(土)2歳児クラスの修了式を行います。他のクラスで、この日保育を希望される方は担任にご相談ください。



キッドエッセイ 59
総括園長 牧野桂一先生

・子どもたちの心情面を、先生が教えてくれています。小さい時の保護者の受け止め、寄り添いが大切と言っています。少しでも参考になればと思います。

気をつけましょう..

- ・現在はノロウイルスが流行といわれています。インフルエンザ感染症も、まだまだ出ています手洗いを行いましょう。睡眠も大切です。何かあれば病院で受診されてください。





自尊感情を、育てる



子育ての話を聞かされた時に『叱るより褒めることが大切』といったり『自尊感情が育っていない』などといわれるのですが、それはどういうことですか」と聞かれることが多くなりました。そこで、今回はそれらのことを少し丁寧に考えてみたいと思います。

私たちは叱られると、「ストレスやプレッシャー」を感じてやる気をなくしてしましますが、褒められると「とても良い気分になりやる気がでてくる」ことを体験として感じます。このようなとき「自尊感情」が育ってきたとよくいわれます。

ここでいう自尊感情というのは、「自分自身をどのように評価するか (self-esteem:セルフ・エスティーム)」ということが基本的な定義のようですが、分かりやすくいえば「自分をどれだけ愛せているかを測る指標」ということで「自尊心」とが「自己有用感」「自己肯定感」などともいわれているようです。それは、いい方を変えると「周りから自分が受けている愛情を感じる指数」といってもいいもので、子どもたちだけではなく私たちも叱られてばかりいると、自己評価が低くなり、「自分は何をしてもうまくできない何の価値もない人間だ」と感じてしまい、我慢したり自分をコントロールしたりすることができなくなり、まわりと上手く付き合っていく協調性を失ってしまいます。また、周りからの愛情を感じることができませんので、心が不安定になってしまい、自分を肯定的に受け入れることができずものごとにも積極的に取り組むことが難しくなります。逆に、私たちも褒められたり優しくされたりすると自分もいい気分になって、自分も周りの人の役に立っているという「自己有用感」をもてるようになります。これは、自分がどれだけ必要な人間であるか、どれだけ社会の役に立っているかということを感じることにつながり、周りの人と仲良くする協調性や困難なことにも精一杯取り組む積極性を育ててくれます。

「自己有用感」がもてるようになると自分のことをよく知り、上手に統制する「自己調整感」も育ってきます。それは自信にもつながり、色々なことを自分の思うようにやり自分らしくありたいという自己存在感を育て自己主張をするようになってきます。このように気持ちが満たされてくると自尊感情も高まってきます。このように自分を受け入れ、周りに対しても自己主張ができるようになると自分に対しても安定的な安心感が育ち「自己安全感」も根付いてきます。そうすると、子どもたちは、良いところもそうでないところも含めて、ありのままの自分が好きになり、一人でいてもいつも周りの人に支えられているという安心感をもって生きていけるようになります。この「自己安全感」は過去にあった嫌な経験や傷ついた経験などを癒やしてくれる力があり、周りの人とも信頼関係をつくり明るく肯定的に生きていく力を育ててくれます。このように自尊感情が高かまると子どもは、「自分はできる」と感じるが多くなり、様々なことに挑戦をし、失敗をしても諦めず、工夫をして乗り越えていくパワーを発揮するようになります。

ここでこの「自尊感情」を家庭の中で育てていくにはどうすればよいかがということが問題になるのですが、最後にそのことを少し考えてみたいと思います。

まず、大切なことは子どもをしつかり承認することです。つまり、子ども自身がやってみたこと考えたことやその表現を認めるのです。そして、「あなたがここにいて嬉しう」という気持ちを子どもに伝えるのです。そうすれば、子どもは上手いかわないことも大人に見守られていることを感じ取り自分を信じ自分を認める力が養われます。

次に、子どもがワクワクし進んで遊ぶことができる場をつくるのが大切です。そのためには、笑ったり、時に叫んだりして私たち自身が子どもとともにワクワクしているのが大切です。さらに、五感を刺激する素材をたくさん与え、自分の好きな感覚、嫌いな感覚を通して自分を理解するようにすると安心して成長をしていけるようになります。ここで、このように提案していることを家庭で一つ一つ完全にすることは、難しいとは思いますが、できるものから少しずつ取り入れていくと自尊感情も育ってくると思いますので、機会を見て子どもとともに取り組んでみてください。

